

□ 顧客起点で活動する「お客さまサポートチーム」に聞く

Webサイト+サポートチーム+営業マン

三位一体で建築設計者の悩みに応える

木材保護塗料「キシラデコール」を適切に使うにはどうすればいいか。

まず確認したいのは、製品情報の入手に便利な公式サイト。

さらに踏み込んで確認したい点があれば、問い合わせメールやフリーダイヤルで気楽に尋ねるのが一番。

製造・販売元の日本エンバイロケミカルズでは「お客さまサポートチーム」が窓口になって、木材保護の基本から保護塗料の使い方まで、建築設計者の幅広い悩みに応えてくれる。

木材を使った建築の設計を手掛け
るなら、一度は見ておきたいWebサ
イトである。

木材保護塗料「キシラデコール」
の公式サイトからは、製品の使い方
に関する情報を得られるだけではな
い。「カラーシミュレーション」では色
の違いによる印象の差を、「塗装事
例集」ではさまざまな用途の建築物
での活用例を確認できる。保護塗料
の公式サイトからのメールや、平日・

実際に使う建築設計者を意識した
コンテンツを持つ。

公式サイトがお客さまの立場に立
った分かりやすい構成になるよう努
めているのは、日本エンバイロケ
ミカルズ保存剤事業部のお客さまサ
ポートチームだ。2010年4月、お
客さま起点の活動を展開する部署と
して新設された。

公式サイトからのメールや、平日・

◎シミュレーションや事例集でキシラデコールの使用感を

The website features a large image of a house with various color options overlaid. A search bar at the bottom right says 'キシラデコール 検索'.

お客さま起点で対応する頼れるサポートチーム

お客さまサポートチームは総勢7人。営業マンや研究開発部門などと連携を図りながら、お客さま起点の活動を展開する。チームマネジャーの山本宏氏(写真後列左)は「お客さまに喜んでいただくこと、お客さまに安心して使っていただくことをスローガンに掲げています」という。建築設計者ならではの問い合わせには、営業マン出身の2人(写真前列)が現場を想い描きながら迅速・的確に応えてくれる。



日中に時間を限ったフリーダイヤル
での問い合わせには、このお客さま
サポートチームが対応する。メール
にしてもフリーダイヤルにしても、お
客さまの状況をまずよく理解したうえ
で、迅速・的確に対応しようとする姿
勢は変わらない。

メールにも電話で応じる お客さまの状況をまず理解

チームマネジャーの山本宏氏は強
調する。「お客さまの目線に立った対
応を心掛けています。それには、相
手の状況を良く理解することが重要
です」。公式サイトからの問い合わせ
メールに対しても、まず電話で応
じて内容を確認するのは、そうした
考え方の表れだ。

問い合わせで多いのは、図面に書
き入れる必要から木材保護塗料の使
用方法・条件を尋ねてくるもの。「こ
のほか、例えば古い建物で古色仕
上げにするにはどの色を使えばいい
か、と自らの仕上げイメージを実現
する仕様を相談してくる場合もありま
す」と山本氏。

木材保護塗料のメーカーとして、
木の特性に関する知識を有する。台風
の翌日、木材保護塗料がしみ出して
漆喰の壁を汚したのでは?との疑い
の声が寄せられた時は、木材の成分

が漆喰中のアルカリと反応すると、
そうした現象が起きることを解説し、
補修方法も伝えたという。

幅広いさまざまな問い合わせに対
して迅速・的確な対応を取れるのは、
チーム内に営業出身者2人を配置し
ているから。山本氏は「現場経験が
豊富で、お客さまの話から現場の様
子を思い描けます。製品知識も十分。
問い合わせには9割方は対応可
能です」と胸を張る。

先導企業の名に恥じない 日本一のサポート目指す

それでも、実際の現場を直接に目
にしないと適切な対応を取れない場
合も生じる。

「その場合は、営業マンが直接現場
を訪問して適切な対応ができるよう
に連携をとっています」(担当者)

今後は、お客さま起点の活動の一層の充実を図っていくというお客
さまサポートチーム。「木材保護塗料
のリーディングカンパニーとして名
に恥じないサポート態勢を整え、日
本一のサポートチームをつくり上げ
ていきたい」——そう山本氏は決意
を明かす。

▶営業マンのサポートを得ながら 色見本を独自に作成

和新・設計事務所 古久保 泰男 氏

キシラデコールは、木材保護、着色、
都市の美化、と多様な役割を担ってい
ます。木材を使う以上、避けて通れ
ない塗料です。建物の外装に使用する場
合、その色の表現にはこだわっています。
それは、地域にも建築主にも木材
にも固有の色があって、そのすべてにう
まく見合った色を表現したいからです。

建物に見合った色を表現するには、
異なる色を混ぜることが必要です。
また、異なる色の配合の仕方を検討しま
す。一方で、塗料の浸透の仕方は木材
によって異なることから、色の出方は
異なります。そこで、現場で用いる木
材にキシラデコールを塗ったものを色
(談)



左 色の配合度合いを変えたキシラデコールを使用する材に実際に塗って、想定している色の配合度合いを確認する。右 設計を担当した「門前の家」。シルバーグレイとジェットブラックの2色を配合し、近くにある興国寺山門の色に見合った色を生み出した。

木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社

キシラデコール®

JASS18 M-307 適合品

キシラデコール フォレストージ®

製造販売
日本エンバイロケミカルズ株式会社
住所: AKZO Nobel Decor GmbH

[お問い合わせ]
大阪 〒550-0023 大阪市西区千代田三丁目南2番37号 ドームシティガスビル 電話 06-4393-0054
東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 電話 03-5444-9860
 fax 0120-124-123 www.jechem.co.jp [キシラデコールに関する情報満載!] ► www.xyladecor.jp